

目的・イベント等の概要

○意見聴取の目的

- ・「**東京都スポーツ推進総合計画**」では、**女性は男性に比べ、スポーツ実施率が低い**傾向にあることを踏まえ、働き盛り世代の女性のスポーツ実施を促進する必要があるとしている
- ・計画改定にあたり、**職業生活の場以外での女性の活躍推進策**の検討の一環として、スポーツイベントの場で意見聴取を実施し、実態を確認する

○イベントの概要

【日時】令和7年7月6日（日）午前10時から午後5時まで

【開催】駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

【主な参加者】

小中学生、家族連れ等の各年代

【内容】

- ・改修工事が終了し、**「駒沢体育館リニューアルオープンイベント」**を開催。オリンピックによるデモンストレーションや3×3エキシビジョンマッチ、アーティストのミニライブ、スポーツ体験コーナー等、豊富なプログラムを実施
- ・開催から4周年を迎える**東京2020大会のメモリアルデーイベント**を同時開催。メダリストが参加するスポーツ体験会やトークショー等を実施。東京2020大会公式マスコットも登場



アンケート結果

○実施方法

- ・ イベント参加者に対してアンケート用紙・グッズを配布し、アンケートフォームから回答を依頼
- ・ イベントの認知度や内容のほか、健康維持のための取組や行政への要望を聴取

○結果の概要

【回収数】

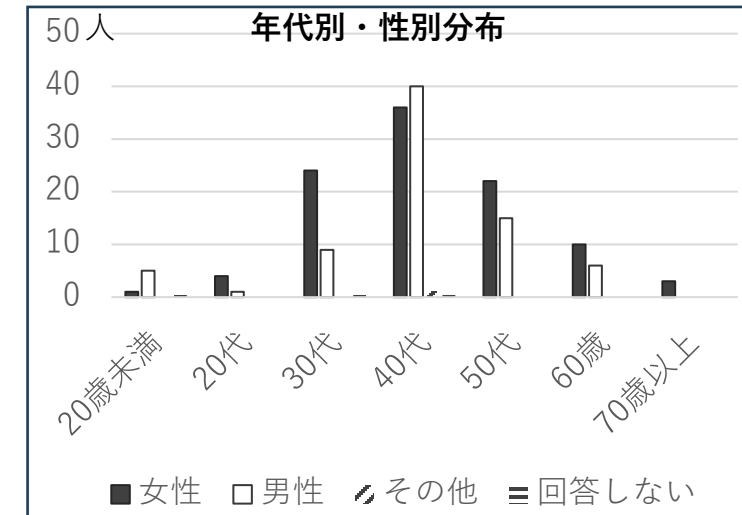
来場者に声がけをし、180件を回収

【年代別・性別分布】

(性別総数) 女性100人 男性76人 その他1人 回答しない3人

【回答】

女性**100名**、男性**76名**の回答結果を集計



(健康維持のために、現在取り組んでいることを教えてください。(MA))

- ・ 定期的な運動をしている (例: ウォーキング、ジム、ヨガなど)

→男性は**78.9%**が選択したが、女性は**43.0%**

特に40代に限定すると、男性は**90.0%**、女性は**38.9%**

○定期的な運動の実施状況に大きな男女差がみられることから、その原因を精査

○スポーツ関連部門とも連携し、今後の施策を検討

(参考) アンケート詳細

F あなたの性別と年代を教えてください。

【性別】 ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない

【年代】 ☐20歳未満 ☐20代 ☐30代 ☐40代
☐50代 ☐60代 ☐70代以上

1 「UP NEXT KOMAZAWA」をどのように知りましたか？ (MA)

- ☐SNS ☐チラシ・ポスター
☐「UP NEXT KOMAZAWA」HP ☐イベントサイト
☐スーパースポーツ ☐交通広告 ☐WEB広告
☐公共施設の掲示物 ☐区市町村の広報 ☐学校からの案内
☐知人・友人から ☐家族に誘われて
☐競技団体の案内や宣伝 ☐その他

2 どのプログラムが一番良かったですか？

(自由記述)

3 東京2020大会をきっかけに、進んだことや、身の回りで変化したなと感じたことはありますか。(例、パラスポーツの認知度、公共交通機関のバリアフリーなど)

- ☐ある
☐なかったが、今回のイベントに参加して、「東京2020大会をきっかけに変わった・進んだこと」を知った
☐特に感じなかった

4 スタッフの対応やイベントの進行について、1 (悪い) ~ 5 (大変良い) の5段階でお答えください。

5 イベントの総合的な満足度について、1 (悪い) ~ 5 (大変良い) の5段階でお答えください。

6 イベントの内容について、改善すべき点、ご意見、ご感想などご自由にお聞かせください。
 (自由記述)

7 今後どのようなイベントが開催されたら参加したいですか？
 (自由記述)

8 健康維持のために、現在取り組んでいることを教えてください。
 (MA)

- ☐定期的な運動をしている (例：ウォーキング、サイクリング、ジム、ヨガなど) 【M: 78.9% W: 43.0%】
☐バランスの取れた食事を心がけている 【M: 34.2% W: 46.0%】
☐十分な睡眠をとるようにしている 【M: 32.9% W: 44.0%】
☐定期的に健康診断を受けている 【M: 23.7% W: 27.0%】
☐ストレス解消のための趣味やリラクゼーションを取り入れている
 【M: 17.1% W: 19.0%】
☐特に取り組んでいない 【M: 2.6% W: 6.0%】
☐特に取り組んでいないが、今後取り組んでいくつもりである
 【M: 3.9% W: 8.0%】
☐その他 () 【M: 0.0% W: 1.0%】

(参考) アンケート詳細

9 いつまでも健康に過ごすための取組について、自治体に期待することは何ですか。(MA)

☐ 地域で参加できる運動・スポーツ教室の開催

【M: 75.0% W: 68.0%】

☐ 健康診断やがん検診などの受診機会の拡充

【M: 27.6% W: 44.0%】

☐ 栄養や食生活に関する講座・情報提供

【M: 19.7% W: 26.0%】

☐ メンタルヘルスやストレス対策に関する支援

【M: 18.4% W: 32.0%】

☐ その他 () 【M: 0.0% W: 0.0%】

10 どうすればスポーツや運動に、より取り組めるようになると思いますか？(MA)

☐ 憧れのアスリートがいる、もしくは好きなスポーツチームがある

【M: 55.3% W: 55.0%】

☐ 気軽にレクリエーションとしてスポーツに取り組める機会がある

【M: 53.9% W: 53.0%】

☐ 身近に指導者がいる 【M: 21.1% W: 22.0%】

☐ 子育て世代向けの健康支援（例：託児付き運動教室）がある

【M: 15.8% W: 21.0%】

☐ その他 () 【M: 1.3% W: 0.0%】

11 あなたが知っているアスリートは男性と女性、どちらが多いですか？

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ どちらでもない

【M: 男性 85.5% 女性 11.8% どちらでもない 2.6%】

【W: 男性 50.0% 女性 25.0% どちらでもない 25.0%】

12 女性アスリートを知る機会として、こういったものがあればよいと思いますか？(MA)

☐ 女子の国際スポーツ大会の開催 【M: 59.2% W: 45.0%】

☐ 女子のスポーツリーグの観戦機会 【M: 27.6% W: 39.0%】

☐ 女性アスリートとの交流会の開催 【M: 30.3% W: 37.0%】

☐ 女性アスリートによるスポーツ教室の開催 【M: 13.2% W: 30.0%】

☐ その他 () 【M: 0.0% W: 1.0%】

(注) 【M:○○% W:○○%】

M:男性 W:女性とし、当該選択肢が選択された数をの回答人数（男性100名、女性76名）で除した割合（小数点以下第二位を四捨五入）